

令和6年度 第2回 タウンミーティング（概要）

○開催日時 令和7年1月18日(土)午前10時～11時

○開催会場 学校法人滝学園教室内

○開会あいさつ

市長 おはようございます。今日は、滝中高生の皆さんとお話できることを楽しみにしております。皆さんから色々な意見をいただきまして、今後のまちづくりにも活かすことができればと思っております。

市の予算は、働いている職員の給料であったり、借金を返済するお金であったり、それから福祉関係で決められた制度のお金であったりと、9割くらいは使い道が決まっていて、残り1割の中で道路を直したり、新しい政策を掲げたりというようなことに使っています。皆さんからは、「江南市の良いところや、こうしたらもっと良くなるんじゃないか」「住みたい・訪れたいという町にするには」そして、「もし皆さんが市長だったらこうしたらいいんじゃないか」というテーマでお話しいただけたらと思っています。私も今日は若い声を大事に、勉強のつもりで来ましたので、短い時間ではありますが、少し考えていただいております。

○出席者と市長の意見交換

市長 まずは自己紹介で、簡単に軽く1分程度でいいですけどお願いいたします。座ったままで結構です。

出席者① 滝高校1年です。私は江南市在住ではなくて、名古屋市在住ですが、それでも滝高校に通っているから1日の半分以上は江南市で過ごさせていただけます。江南市在住というのではなく、観光客向けみたいな感じで意見を言えたらいいなと思います。

出席者② 滝中学校2年です。江南市は医療費の無料化が18歳までと聞いて、僕が住む一宮市は15歳までしか適用されないと聞いたので、福祉が充実しているなと思います。

出席者③ 滝中学校1年です。僕は一宮市に住んでいて、周りの市を通ることがあっても、江南市に立ち寄ることは少なかったんですけど、滝中学校に入ってから江南市に来ることが増えて、もう少し江南市について知りたいなあと思います。

出席者④ 滝中学校1年です。私は生まれたのは江南市です。住んでいるのも江南市なので、今回市長さんに直接会って話ができるということなので、せっかくの貴重な機会だなあと思って参加しました。江南市に住んでいて、とても身近なので、もっと江南市を知りたいなと思っています。

出席者⑤ 滝中学校3年です。僕は岐阜県在住ですが、あまり岐阜県にも住んでなくて、愛知県に何市があるのかも全然知りませんでした。滝中に入るまで

は江南市っていうのも知らなかったなので、客観的な意見で言えたらいいなと思っています。

出席者⑥ 滝中学校2年です。今、江南市に住んでいるんですけど、江南市に住んで4年目です。住んでからの意見も客観的な意見も言えるといいなと思っています。

出席者⑦ 滝中学校1年です。僕はアニメの名探偵コナンが好きで、コナンから江南市を知りました。稲沢市に住んでいて、近くの駅まで自転車で通っているんですけど、そこの駐輪場は雑な感じになっているのに、江南市の駐輪場は見たところ丁寧に自転車が止めてあっていいなあと思います。

出席者⑧ 滝中学校1年です。僕は岐阜市に住んでいるんですけど、あんまり江南市のことを知らなくてもっと知れたらいいなと思って参加しました。滝中に通っているのでもっと江南市のことを知れたらいいなあと思っています。

出席者⑨ 滝中学校1年です。岐阜市に住んでいるんですけど、江南市は滝中を知るまで全然知らなかったのでも、名古屋市みたいに知名度があるような市にするために意見交換できたらいいなあと思います。

市長 ありがとうございます。今度「春の香り」という映画が公開されます。一昨日、名古屋で試写会があって、出席した市の職員が大号泣して帰ってきたと聞きました。映画には江南市の良いところがいっぱい出てきますし、いろんな考え方があってもいいんですけど、福祉だとかそういった面でも役立てて行きたいなとも私も思っていますので、よろしく願いいたします。それでは一通りお話を聞きました。また順番に好きなように発言していただければ結構ですので、お願いいたします。

出席者① 私の意見になっちゃうんですけど、名古屋市だとあまりボランティア活動が盛んではなくて、エコとかについても考えていると思うんですけど、あまり市民を合わせた活動が少ないと感じます。でも、江南市は布袋の図書館が綺麗で、図書館を中心に市民が活動しているのを聞きました。環境に関するSDGsの実証をしていますよね。あれがすごいなあと思います。あと、私は藤まつりが好きでよく行くんですけど、盛り上がりというか藤の綺麗さが好きです。以上です。

市長 ありがとうございます。良いところばかり答えていただいて嬉しかったです。皆さんに聞きたいけど、トコ・トコ・ラボに行ったことはありますか。

(挙手: 2人程度) 行ったことある人は割と少ないですね。電車で通学している人も多いと思いますけど、布袋駅のところに一昨年4月にオープンしまして、図書館を中心とした施設ですけど、昨日も立ち寄ったら生徒でいっぱいでした。どこの生徒かといったら一番近い尾北高校じゃないかなと思いますけど、図書館の自由席はずっと満席でみんな勉強していました。ありがたくお越しいただけますけど、新しいまちづくりのシンボルということで、こういう施設ができると、新しいお店ができたり、道路が広くなったりします。これからもやっていきたいと思っています。

エコに関して言えば江南市は「57」(＝こうなん) ということで表現をしたりして、私が乗っている公用車もナンバーは57番です。もともと江南市には一人1日57グラムのごみを減らしましょうというごみ減量運動を古く

からやっていて、それがエコというものにつながっています。今、過渡期にはなってきたんですけど、江南市は資源ごみを非常に細かく分けて地域のステーションがあって、月に2回持って行って、新聞であったり、雑誌であったり、ペットボトルや缶、木材、プラスチックとか様々なそういったものを仕分けしてやってくるというのは一つの自慢です。愛知県の中で10万人都市では一番というくらいのごみの分別をしています。ごみ箱に入れてしまえばごみになって結果的に燃やしてしまうことになってしまいますが、リサイクルすれば新聞紙とかまた新しいトイレットペーパーに変わったりとか、ペットボトルは衣類品に変わったりだとか、そういったことが徹底されてきた都市かなと思っています。江南市は毎年、市民花火大会があって、その翌日にボランティアの方々とごみの片付け、ごみ拾いをやっています。初期の頃は、すいとぴあ江南の芝生広場に山のようなごみが出たんですけど、去年も行ってきましたが、そういったものは本当に少なくなりましたね。それはやっぱり一人ひとりの意識とごみの問題に古くから取り組んでいるということが大きな影響かなと思っています。良いところに目を付けていただきました。

出席者② 質問でもいいですか。江南市では高齢化って進んでいますか。

市長 高齢化率ですと、(江南市の高齢化率：28.1%) 愛知県内の平均よりは少し高めだと思います。全国平均よりは低いです。江南市は350億円くらいの予算があって、特に高齢者であったり、障害者であったり、子どものほうも若干入ってきますけど、福祉にかかる予算の割合が非常に高いです。一宮市では15歳までの医療費が無料かもしれませんが、江南市では18歳までで、他市もだんだん18歳に近づいていっています。ただ、日本のどこに住もうが同じじゃないといけないと思いませんか。私はそう思っています。江南市も18歳まで引き上げていくのは順番を追ってやっていったんですけど、お金をどうやって集めてくるかは、ほとんどが税金であったり、国からいただいたりするお金で、これはそんなに増えませんので、新しいことがあるたびにどんどん膨らんでいってしまう。高齢化はこれからすごく心配です。どんどん人口が減っていきますから、若い人に住んでいただければ、そこでお子さんが生まれて、また活気のあるまちづくりができるというようなことをやっていかなければいけないかなと思っています。65歳以上というとずいぶん増えていて、4人に1人が高齢者。その方たちは大抵仕事を定年する時なので、高齢化率が高くなっていくと、働いている人たちからいただく税金の使い道が高齢者のほうに回っていってしまうというのがあって、高齢化を防がなければいけないというようなことがあるんですけど、少子化ですのでこれが悩みの種です。国全体で少子化対策をやっていかなければいけないということで、今若い人たち向けの、特に学校関係のほうにお金を少しずつシフトしていっています。滝学園では普通教室も早くからエアコンが入っていたりしたと思うんですけど、江南市の小中学校はまだつい最近エアコンが入ったばかりで、それから能登半島の震災で避難所になる体育館にもエアコンを入れないといけない。それを今、文部科学省の方が防災の関係で補助が出るようになりましたので、江南市は予算化しまして、小中学校の体育館にエアコンを入れることにしましたけど、全部国が負担してくれるわけではないので、実はまた大変な仕事をしなきゃいけない。今までお金を使っていた事業に使えなくなるかもしれないので、そういったこと

にも気をつけながらやっていかなきゃいけないと思っています。

出席者③ 社会の授業で江南市の地場産業はカーテンって聞いたんですけど、一宮市だと毛織物がすごく有名で、その時に一宮市は七夕祭りの時に毛織物をすごくアピールしているんですけど、江南市もそういうのをアピールする機会があればなあと思います。

市長 すごく良い着目点で勉強していただいていますね。ありがとうございます。

ずいぶん前の話で、江南市の地場産業のカーテンは、かつて日本一の生産地だったんですが、独自のブランドを持っていなくて、江南市で作ったものを、問屋さんとか、商社に納めて、その商社の名前で販売されるので、江南市で生産されていることはあまり有名ではなかったんですね。当時、お隣同士で一宮市の毛織物、江南市のカーテン産業とって、間仕切りのパーティションも作っていたんですけど、今はほとんど廃業又は転業されてしまって、残念ながらカーテン日本一というのは、もう言えなくなりましたね。若干残ってはいますけど、カーテンもほとんどがやはり大手の大阪のほうの商社のブランドで今出ています。過去には藤まつりの時にミスインテリアをコンテストで選んで、そういったことをPRしていましたが、今はそういうものもなくなりましたね。江南市のカーテンで良かったところは織り柄とって、織ることによって柄ができてくるっていうのがあって、高級品だったんですが、江南独特のジャカード織と言います。ありがとうございます。

出席者④ 江南市は、名古屋市のように全国的な知名度がそこまでないので、江南市の何かを見に行くために江南市に来てくれる方って愛知県とか隣の岐阜県のあたりだと思うんですけど、市長さんは県外から観光客とかそういうような人たちを集めるために、宿泊業に関する取り組みは行っているのかどうか聞きたいです。すいとぴあ江南には宿泊できる場所があったりしますが、そういう宿泊できる施設を作ったら江南市に来てくださるお客さんが増えるのではないかなと思うんですけど。

市長 来ていただいても泊まる所がないというのは重要な要素で、江南市はホテルがないですね。すいとぴあ江南は泊まれるんですけど、交通の便が良くない。例えば、江南駅前だと、名古屋駅と時間的に20分ぐらいで行き来できてしまう。仕事で例えば江南方面へ来ても20分で移動できれば名古屋に泊まっても江南に泊まっても一緒なので名古屋に泊まることが多いというようなデータが出たりして、それと敷地の面積が取れないので十分な施設が作れない。それでホテル業者も敬遠をされたことがあったと聞いています。今、すいとぴあ江南が唯一泊まれるところということで、非常に安く泊まれるので、多くの人に利用していただいているんですけど、仕事で使われる人は少ないかなと思っています。そういった中で、すいとぴあ江南の見直しをしようとしています。これももう今から6、7年前にはすいとぴあ江南をなくしてしまおうというような案も出ているんですね。残念なんですけど、なぜかというところ施設の維持費がすごくかかるんです。年間で1億円、プラス大改修の修繕費というところ1年に2億円くらいお金を投入している。2億円って言うと、江南市中の道路を直したりする金額とほとんど一緒です。もったいないなあということがあって、来年ぐらいから将来どうするか、調査を始めていきます。

出席者⑤ 高齢化で1つ思ったんですけど、最近空き家が問題になっていますよね。江南市ではどうされているんですか。

市長 難しいですよ、江南市の人口はピークで10万2,000人くらいまでいって、今現在9万8,000人に近づいているような状況で、だんだん減ってきています。ところが世帯とって、昔は我が家もそうでしたけど、おじいちゃん・おばあちゃんがいて、お父さん・お母さんがいて、兄弟姉妹がいてというのが、今、子どもたちは独立して外に家を建てるようになってきて、人口は減っているんですけど、家の数は増えていっているような状況です。ということは、おじいちゃん・おばあちゃんが今まで3世代で住んでいたのが1世代で住むようになって、その家庭がなくなっていったりすると空き家になってしまいます。また子供たちが戻ってくれば別かもしれませんが、なかなか今戻ってくるような状況じゃないので、空き家が増えていってしまいます。まだ江南市は良い方だと思いますけど、離島であったり山間部であったりというところはもっと空き家が増えています。空き家になると1つは防犯上の問題で、そこに変な人が住みつかないか、誰かが投げタバコをして火事にならないかとか。空き家はできるだけ減らそうということで、空き家となるような場合には補助を出して取壊しをしていただくということもありますけど、全額じゃなくわずかな補助なので、なかなか取壊しまでに至らないということがあります。一方で、世代が絶えてしまって、後に建物を相続して継ぐ人が通常はいるわけですけど、相続する人がいなくなった場合にそのまま残ってしまいます。これは困ったことだということで、国の方で法律を整備しまして、特定の危険な建物については、行政の名前で壊していいですよということになったんですけど、お金は行政が持たないといけないというようなことで、これも貴重な税金を使わなきゃいけないのは大変ですから、なかなか進まない。ただもう屋根が落ちてしまって、台風が来たら瓦がこっちへ飛んでくるんじゃないかということで、特定空家としているのは片手くらいで5戸にもいかないくらいですが、住んでない家はいっぱいあります。特に住宅であったところは、その土地の固定資産税が安く済むんですね。これがあるために空き家でも建っているだけで通常は税金が安いのでなかなか取り壊してもらえないという状況があったりします。これもやはり政策とか難しいんですけど、日頃からしっかり管理しながらやっっていかなきゃいけないなと思っています。

出席者⑥ 今、布袋の方は、図書館ができたり、駅の下にお店ができて栄えてると思うんですけど、布袋の開発を進めていこうことになって、江南駅前が廃墟とか結構多くなっちゃって、それについてはどう思いますか。

市長 すごいね。本当に江南市のまさに悩みで、江南駅というのは昔、古知野駅とって、昭和29年、今から70年近く前に新しく江南市ができて、江南駅中心のところがやっぱり一番の中心地なので、そこを中心に開発してきて、最初の開発をしてから今50年経ってきてるんですよ。一方で、布袋はずっと古いままで、布袋駅というのは名鉄の中でも1番古い駅だと言われていたくらいで、明治村に行くような建物がありました。それを何とか改善をしていきたいという中で、布袋地域の方々たちが意識を1つにして盛んに運動をしてきました。そして、名鉄の布袋駅付近が鉄道高架になることに決まりました。当時は古知野地域も鉄道高架にしたいという陳情があったん

ですけど、江南駅は北へ少し行くと大きなカーブがあったり、鉄道高架にするには横にとりあえず電車を走らせる線路のスペースがあるので、それを作るのに家をどいてもらわないといけなかったりという大きな問題があって、古知野地域の鉄道高架は諦めをされました。布袋地域については、線路がわりとまっすぐなところでしたので、地域の方々が鉄道高架を早くやってほしいという運動が盛り上がって、行政と一緒にって県に陳情したり、国に陳情したりしてやっと完成したところです。その完成する前まで、特に北部地域というのはすいとびあ江南があったり、フラワーパーク江南があったり、比較的人口も少ない地域ですので、新しいことがやりやすかったんですよね。北部地域の発展が先に行ってしまったけど、そういったことがあって、江南駅地区については、滝中高生の生徒さんが利用する影響もあるかもしれませんが、名鉄犬山線の中で乗降客数が一番多いにもかかわらず開発が遅れてしまったという背景があります。ありがとうございます。

出席者⑦ 僕は江南市のことをすごく知っているわけではないので、良い質問ができないんですけど、僕は滝中学校に入るまでは住んでいる稲沢市と名古屋市の生活圏内で、今も最寄り駅まで自転車で通学しています。さっきも言ったとおりめちゃくちゃ駐輪場が荒れてて何回も自転車を倒されたりして、それが当たり前かなと思ってたんですけど、スクールバスから江南市の駐輪場を見たときに綺麗になっていて、治安がいいなあと思いました。すごくいいと思います。

市長 他市の方がどういう状況か分からないですけど、江南市の駐輪場は今、布袋地域は新しくなって、本来自転車を利用する人が100円とかお金を払って利用いただいています。税金を投入するだけではなくて、利用者負担と言って利益を受ける人がお金を払うべきという考え方が行政の中にあるんですけど、布袋地区につきましては無料の駐輪場をだんだん閉鎖して行って、それで新しく高架下に駐輪場ができていっていますので、そこでお金を払っていただけて利用していただいています。江南駅のほうについては一緒に有料化したかたんですけど、空いている土地がないものですから、限られた土地の中に皆さんがそこに乗り付けて、そこには係員さんがいらっしゃってちゃんと整理をしていただいています。また、地域の目もあって、お隣に住んでいる人にしたら乱雑に自転車が置いてあったら面白くないじゃないですか。時間がないからといって、ごちゃごちゃに止めて行ったりする人もあるようですけど、できるだけシルバー人材センターの方々をお願いしながら整理をしていただいているという状況で、将来的には布袋のようにお金を払って止めていただくような江南市のスペースができるんじゃないかなって思っています。ありがとうございます。

出席者⑧ こないだも大きな災害があって、災害はいつ起きるか分かりません。もしかして江南市にいるときに災害が起きるかもしれないので、災害対策のことが気になっていて、どういったことをされているのかなと思って質問したいです。

市長 木曾川の南で江南市と付けられたことから、ひょっとしたら木曾川の玉石が自然の免震装置になっているんじゃないかなって思うことがあります。例えば、地震が起きたときに、一宮市は震度2、犬山市も震度2と速報が出て、その間にある江南市も震度2かなと思ったら震度1って出ること

があるんです。だから、非常に液状化現象が少ない地域ですが、大雨が降って木曾川が決壊した場合、どこで決壊をするか分からないですけど、最悪の場合は最高で3メートルまで水位が上がると言われています。今は、市でもハザードマップを作って、備えることの大切さが大事だと訴えています。江南市には10校の小学校がありますけど、その小学校区単位で自主防災会っていうのがあって、警察とか消防を別にして、地域の方々が最低限の設備を持って何かあったら避難するということで小学校へ向かったりする仕組みも設けて、必ず年に1回訓練をやっています。交代で参加されますから、全員が参加するまでには10年以上かかるかもしれませんが、まず防災に対する意識を高めていかなければいけない。皆さんも気を付けていただきたいのが非常持出し袋に最低3日間の水と食料を用意してほしい。水は1日一人3リットルというから9リットルの水を持たなければいけない。本当はそれを持って避難しなければならぬかもしれないですが、それぞれの家の丈夫なところに置いておいて、揺れが治まったときに取りに行くというようなことを周知しています。人によっては眼鏡をかけている人もいるかもしれませんが、寝ているときに地震が来て、眼鏡がどこかに行ってしまったということもあるかもしれないので、予備の眼鏡を用意しておいたりとか、小さなお子さんがいる家庭ではミルクを用意したり、高齢者だと薬を用意したりとか人それぞれ違うので、そうしたリストもホームページ上で公開していますので、リュックに入れておいてほしい。私もあまりやれていませんけど、地震でガラスが割れたりするので、寝ている所には必ず靴やスリッパの用意が必要だと言われています。今、能登半島のほうは非常に復興が遅れていて、江南市からも職員が応援に行ったりしていますけど、山があって海岸沿いに道があるという能登半島独特の形状もあって、その海岸が隆起して道路も寸断されてしまい、当初、水が全然通っていなかったというようなことで、復興が遅れているというふうに言われています。阪神・淡路の震災が昨日これで30年を迎えましたけど、その時には、倒れた家財とか潰れた家で亡くなった方が8割というふうに言われていました。家が潰れなかったら助かるということですけど、東日本の震災については完全に津波が死亡の原因でした。僕も東北に行ったことがあるんですけど、東北には高速道路もありますけどちょっと高いですね。高速道路の片側は水没してしまって、反対側は普通に生活をしているというような極端になっていました。では江南市で災害が起きるといったときに、まずは地震の時や水害の時を考えて計算をしなければいけないんですけど、水害について先ほど言いましたようにハザードマップが公開されていますけど、最大で木曾川に近いところで3メートルというような数字も書かれています。地震については、液状化現象はありませんが、どこで道路が陥没しているとか、まずは自分が生きていけるようにしっかり準備をしてほしいなと思っています。

出席者⑨ 名古屋は名古屋駅周辺にいろんな会社があって、いろんな人が来たりして発展していると思うんですけど、江南市には大きい会社がなくてそういう会社が入ってきたら江南駅とかもたくさん発展すると思うんですけど、そういう経済的な面では江南市はどういうふうに考えているんですか。

市長 鋭いところを。今、日本では東京一極集中だとよく言われてますよね。全てが東京に集まってくるというのは確かに便利だからかもしれませんが、国の役所も東京にほとんど集まっていたりします。会社だけじゃなくて、そ

うしたものを地方に分散させていこうと言われてるんですけど、なかなか進んでいない状況です。名古屋市についてはやはり交通の便や、人との交流の面でやっぱり便利なんでしょうね。江南市にあった大きな会社も名古屋市に出ていったことがありました。例えば、四国に大きな製紙会社があったり、静岡にもあったりしますが、それは土地の利を生かして木が取れるとか、広い用地がいるとか、そういったようなことがあって発展してきたんだと思います。大きな会社に来てくださいという誘致合戦はなかなか難しく、江南駅前にそういった会社があればいいなあというくらいしか僕も今、アイデアがないんだけど、企業に来ていただくと企業があることによって、法人税という形や個人であれば所得税という形で江南市に税金が入るんですよね。さらに固定資産税とあって、建物とか土地を持っているだけで税金を納めていただくことになる。ただ、税収を増やすために大きな企業に来てほしいと思っても、江南市ではなかなか土地がないので、広い畑とかがある場所に誘致を一生懸命やってるんですけど、市街化調整区域とあって農地には家を勝手に建てられないんです。市街化区域という認定をもらわないと建てられない。大口町や小牧市の方に行く所に曾本という地域があるんですけど、そこに今、新しい工業用地を作ろうとしています。このことによって先行投資をしていかなければいけませんので、道路とかは市が整備しないとイケなくて、場合によっては、土地そのものを買上げていかなければいけないんですけど、愛知県と協力しながら県に土地を買っていただいて、県の方から工場来てくださいという誘致をお願いして、大きな会社が来てくれたら江南市の方に税金が入ってくるので、そういうことを今、計画しています。ただ、それが順調にいても8年とか10年くらいかかってしまうんですね。先行するお金はどんどん先に出て行くので、計画を立てながら、市役所の中の部署も決めながらやっていきたいと思っています。昔は、江南市は名古屋駅から非常に近いので生活都市でいいんじゃないかということで進めてきました。大きな企業に来てもらわなくても、良好な環境の中で住める所があればいいかなということでやってきたんですけど、このままだと税収は増えないですよ。そうしたことで新たに私が市長になってから、企業を誘致していくという結論をしましたが、同時にせっかくの良い農地がどんどん宅地化されていく可能性があって、自分たちの食べ物を自分たちで用意するために、食料自給率を上げていかなければいけません。2つのせめぎ合いがあって難しいんですけど、農家の方はもうほとんど作業してなくて、農家をやりたいという人に安いお金で土地を貸したり、無料で貸したりしていることが分かって、農地を持っている人たちはもう売ってもいいということが分かってきたものですから、曾本地区は本当に良い農地だったんですけど、税収が増えるような新しい仕組みに変えていこうとやっているところです

教員 それでは時間になりましたので、これで終わりにしたいと思います。このような機会でも市長さんに直接来てもらって意見などを出していただいたと思うんですけど、やはり今、話を伺った中で自分の意見を言うのがいかに大事かというのが、布袋町もそうですけど、粘り強くやっていかないと市長さんも市民全員と話ができるわけじゃないので、皆さんも積極的に講座に参加したり、市がやってる行事に参加したりしないと声が届きません。市長さんもみんな一人ひとりのことを考えながらやりたいんですけど、何も言っ

てくれないと分からないと思うので、どんどん積極的に参加すると、より良くなるのかなと思います。そして、政治にも興味を持っていただきたいと思います。

市長 今、先生の方から本当に良いことを言っていただきました。政治に興味を持ってということまではなかなか言えませんが、皆さんが住んでいる中で、より良い生活をしていくことに対して意見があったならばどんどんおっしゃっていただきたいなと思います。なかなか若い人たちから意見をいただけないという状況もありますので、江南市ではインターネットを通じて「市長への手紙」に自由に書いてきていただいても結構です。特に、若い人たちが選挙になかなか行かないということは、それだけ若い人たちの方を向いた政策がされなくなってしまうんですね。どうしても高齢者はたくさん選挙に行くから高齢者向けの施策が多くなっていってしまう。誰に入れたらいいのか分からないというのであれば、白紙でもいいので選挙に行くということが大事だと思います。他の学校でもこうしたことやりましたけど、さすがに滝学園はすごいなあと思っています。江南市のここが弱いなあっていうところを言っていただきまして、ますますそこに力を注いでいかなければならないなっていうふうに思っています。一人1つずつしかお答えすることができなかつたんですけど、今後とも皆さんのお力をいただいて、住みよい江南市にしていけますので、江南市以外の方からもお力を頂戴したいなと思います。ありがとうございました。